

2025年2月28日  
金沢エナジー株式会社

## 「第3回EGK工芸アワード」の募集開始について

金沢エナジー株式会社（代表取締役社長：石本 毅）は、2月28日（金）より、「第3回EGK工芸アワード」の募集を開始いたしましたのでお知らせいたします。今後も本顕彰制度を通じて次世代作家の育成を支援するとともに、多くの方が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、石川・金沢の伝統工芸の持続的な発展に取り組んでまいります。

### 【事業概要】

事業名	第3回EGK工芸アワード
趣旨・目的	本顕彰制度を通じ次世代作家の育成を支援するとともに、多くの方が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、石川・金沢の伝統工芸の持続的な発展に寄与すること。
主催等	主催：金沢エナジー株式会社 共催：北國新聞社 協力：株式会社ビームス 後援：金沢市、一般財団法人石川県芸術文化協会、一般財団法人石川県美術文化協会、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお
応募期間	2025年2月28日（金）～5月31日（土）
結果発表	2025年8月頃
表彰式	2025年8月27日（水）実施予定

### <お問い合わせ>

金沢エナジー株式会社  
地域エネルギー企画部 地域共生安全対策室  
TEL:076-224-0130(代表)

以上

工芸の新しいうねり、金沢から。

「KOGEI」にはパワーがある。



## 第3回 EGK工芸アワード エントリー受付開始

### 第2回受賞者

#### 金沢エネルギー賞

板屋 成美 分野/陶芸

金沢美術工芸大学卒業。多治見市陶磁器意匠研究所修了。現在は金沢卯辰山工芸工房専門員として勤務。金沢市内で制作活動中。



#### 北國新聞社賞

府坂 杏 分野/陶芸

京都精華大学芸術学部博士前期課程染織専攻修了後、金沢卯辰山工芸工房を修了。現在は金沢湯涌創作の森非常勤職員として勤務。金沢市内で制作活動中。



#### ビームス賞

豊海 健太 分野/漆芸

金沢美術工芸大学博士後期課程を修了後、現在は金沢卯辰山工芸工房専門員、福井大学の非常勤講師として勤務。金沢市内で制作活動中。



「金沢エネルギー（EGK）」は次世代を担う工芸作家を応援します。

金沢エネルギー株式会社は、金沢市の貴重な財産であるガス事業・水力発電事業を引き継ぎ、2022年に事業を開始しました。伝統工芸の新たな顕彰制度として創設した「EGK工芸アワード」が、これからの石川・金沢の伝統工芸を担う方々にとって一つの目標となるよう、応援させていただくとともに、多くの方が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、伝統工芸の持続的な発展に貢献したいと考えています。

金沢エネルギー株式会社 代表取締役社長 石本 毅

●主催/金沢エネルギー株式会社 ●共催/北國新聞社 ●協力/株式会社ビームス

●後援/金沢市、一般財団法人石川県芸術文化協会、一般財団法人石川県美術文化協会、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお





石川・金沢には、藩政期以来、脈々と受け継がれてきた伝統工芸があります。先人からバトンを受けた新しい才能が、国内はもとより海外にも通じる質の高い技術を、さらに発展させてきました。

2022年に創設された「EGK工芸アワード」は、今まさに国内・世界へはばたこうとする工芸作家、グループを後押しするとともに、多くの人々が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、石川・金沢の伝統工芸の持続的な発展に寄与するための顕彰事業です。

第3回EGK工芸アワード募集開始

応募締切／2025年5月31日(土)

【募集要項】

- 応募資格
- 作家、職人、デザイナーなど、石川県の伝統工芸の制作に従事している個人、グループ
  - 石川県出身者または石川県に在住歴があること
  - 50歳未満であること(2025年5月31日時点)
  - 審査会に提示できるオリジナル作品が2点以上あること
  - 本顕彰制度の開催趣旨を尊重していること
  - 自薦他薦は問わない(他薦の場合は本人の同意を得ていること)
  - 過去受賞者の応募を認める

応募方法

申込フォーム▶



選定方針

藩政期以来の伝統に裏打ちされた上質の技術、美意識を体現するとともに、伝統に新たな価値を与える創造性、独自性をもった工芸作家を選定します。

審査項目

以下の項目を中心に一次審査・二次審査を行います。  
※二次審査では応募作品動画(2点まで)の提出を必須とします。内容はスマートフォン等で作品の引き(全体)、寄り(近影)の動画を60秒程度でハイビジョン撮影した資料となります。

- 石川県の伝統工芸技術を習得し、かつ独自の解釈により昇華させているか
- 応募者の個性や感性が、活動や作品に反映されているか
- 伝統工芸に対する考え方、未来にむけての目標が確立できているか
- 応募者が、積極的に対外発信に取り組んでいるか
- 応募者が携わった範囲(製作工程の箇所、デザイン、プロデュース部分など)

審査員

唐澤 昌宏(国立工芸館長)  
奈良 宗久(茶道家)  
大場 吉美(洋画家、石川県美術文化協会理事長)  
中川 衛(彫金人間国宝)  
南雲浩二郎(ビームス ディレクターズバンククリエイティブディレクター)  
市島 桜魚(漆芸家)  
金田みやび(ギャラリスト)  
石本 毅(金沢エナジー代表取締役社長)  
西本 東介(石川県芸術文化協会専務理事)

賞の種類

金沢エナジー賞、北國新聞社賞、ビームス賞の3賞を表彰します。

受賞者特典

① 賞金(50万円)等 ② メディア(北國新聞等)の取材露出  
③ 企業タイアップ企画等の支援

結果発表

2025年8月上旬にEGK工芸アワードホームページ、および北國新聞紙面にて公表します。

表彰式

2025年8月27日(水)に実施予定です。

EGK工芸アワード特設ページ <https://egk-award.jp/>

